

課題 「例を具体的に書く方法 その3」を理解し、実践しよう

★1

左の文を比べてみよう。読み手にとって、どちらがイメージしやすいか。

【ア】 落ち込んでいる人に、否定的なことを言っではいけない。否定的なことを言われたら、ますます落ち込んでしまうからだ。

【イ】 落ち込んでいる人に、否定的なことを言っではいけない。「だから、君はダメなんだよ」と言われたら、ますます落ち込んでしまうからだ。

例を具体的に書く方法その③

→ (会話表現) を使う

「職場で、年上の後輩Aさんに敬語を使うべきだ」という意見に賛成か反対か

★1 状況の確認

①あなたは、ファミリーレストランに就職して五年目。二十三歳。新入社員を指導できるほどになった。

②新入社員は、四十歳。元・車の販売営業マン。飲食店で働いた経験は、ない。

③あなたは、店長から、「Aさんに仕事を教えてあげてくれ」と、頼まれた。

★2 構成メモを書く

①理由を考えよう

一つ目

②理由について、具体的な会話表現を挙げよう

一つ目

二つ目

二つ目

★3 困ったときは、ここを見よう!

●賛成・反対の立場を決めることができない
または

●理由を考えることができない

① 下のスペースを使って、敬語に関するマップングを行なう。(敬語の良い点・悪い点を見つける)

② 「もし、自分がAさんだったら……」とAさんの立場で考える。

③ 「仕事を教えるとき、敬語か常態語どちらが教えやすいか」で考える

④ 「周りの従業員の人があなたの言葉遣いを聞いていたら、どう思うか」で考える

●理由を一つしか思いつかない

① 理由は、一つだけでもよい(A評価を目指すのが理想だが、B評価も及第点である)

●書き出しがわからない

① はじめ、結論を示す。『優先席は必要である』の形を参考にしよう

●会話表現が思いつかない

① ファミリーレストランの従業員の仕事を想像しよう。どのようなものが、あるだろうか

敬語

